国際ロータリー第2590地区　川崎百合丘ロータリークラブ

Weekly Report

2015 ～2016 年度

世界へのプレゼントになろう

作者の言葉

我が百合丘ロータリークラブのシンボルマーク百合の花は世界にも有り様にかつてはここ多摩丘陵のあちこちに見られ身近でこそ都市化の波により開発され少なくなったがそれでも初夏ともなると散策する丘の小路にその香りは清く風にただよい清純な乙女を感じさせるそのである　昭和五十三年春吉日

平成27年12月8日(火)
第1791回例会

■ 会長 鴨志田 敏彦
■ 幹事 赤本 昌応
■ 会報 中村 和広

例 会 日　毎週火曜日　12:30～13:30
例会会場　ホテルモリノ7F　TEL 044-966-1300

川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/

第1791回例会記録　平成27年12月8日(火)　20/46回

＜点鐘＞　鴨志田会長
＜ソング＞　それでこそロータリー
＜お客様ご紹介＞　鴨志田会長
米山奨学生　マリア・マグダレナさん

＜表彰＞
◆ポール・ハリス・フェロー
　鈴木文夫会員（4回目）
　中島健児会員（1回目）
　鴨志田会長より記念品が渡されました。
◆ベネファクター
　鴨志田会長
　赤本幹事より記念品が渡されました。
◆桐光学園サッカー部全国大会出場のお祝い
　鴨志田会長より小塚会員へ会員全員からのお祝いが渡されました。
　「年明けて2日より初戦が始まります。皆さんの声を選手に届けて頑張って欲しいと思います。応援よろしくお願いします」。

白井会員より
　11月3日（火）に小塚会員が旭日小綬章を受賞したのでお祝いをしたいと思います。お祝い会を2月14日（日）ホテルモリノで開催したいと思いますのでよろしくお願いします。

＜会長報告＞　鴨志田会長
　先に、理事会報告です。
・桐光学園サッカー部が全国大会に出場されるとのことでお祝いを渡すこととなりました。
・麻生区賀詞交歓会のお祝いを渡すことが承認されました。
　以下、会長報告です。
1. 一般財団法人比国育英会パギオ基金より２０１４年事業報告書の送付と基金への寄付のお願い
2. 麻生区賀詞交歓会の開催について
　1/8（金）15:00～ 新百合21ビル多目的ホール地下2F
3. 麻生地区消防出初式の案内
　1/10（日）10:00～11:30
　麻生水処理センター「麻生ふれあいの広場」

＜幹事報告＞　赤本幹事
＊国際ロータリー第2590地区第1・第2・第3グループ合同IM開催についての案内とお願い
　2/9（火）登録開始14:00 エポックなかはら大ホール
　それぞれポストインされておりますのでご確認の上参加の場合は当日お持ち下さい。
＊近隣クラブ例会変更
　川崎西RC　川崎高津南RC　新川崎RC　横浜RC

＜ニコニコ委員会＞　小島委員
　鴨志田会長→「赤本幹事、中村クラブ奉仕委員長、委員会報告よろしくお願いします」。赤本幹事→「本日は委員会報告です。委員長よろしくお願いいたします」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤美恵子会員、安藤亨会員、安藤志子会員、浅野会員、井上久会員、井上勇会員、石野会員、石坂会員、北島会員、小塚会員、中島健児会員、中島眞一会員、中村会員、野島会員、大矢会員、尾崎会員、嶋会員、白井会員、鈴木文夫会員、鈴木清会員、鵜飼会員、

第1793回	12月22日	年末家族会（親睦委員長）
第1794回	1 月 5 日	新年会　移動例会（親睦委員長）
第1795回	1 月12日	委員会報告⑧　地区会議報告（国際奉仕、職業奉仕委員会の各委員長）

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

渡邊会員、結城会員、小島会員。

＜出席委員会＞　　　　　　　　　　　　安藤志子委員

	会員	出席	欠席	メーク	出席率
第1791回	42	28	14		66.67%
第1790回	42	34	8	2	85.71%

＜ニコニコ・財団・米山委員会＞

	今回		累計	
ニコニコ	26件	26,000円	564件	632,612円
財団	0件	0円	9件	126,000円
ベネファクター	0件	0円	1件	120,000円
米山	0件	0円	17件	245,000円

本日のプログラム

＜委員会報告＞

クラブ奉仕委員会　　　　　　　　　　　　中村委員長

11月17日､18日に行われたクラブ奉仕委員長会議に参加して参りました。当クラブからは小塚委員と私が出席いたしました。

まず最初にRIについてお話がありました。昨今よく言われていますがロータリー先進国と言われる国々の会員が激減してきていることにRIとしては非常に危機感を持っています。これを解決するためにクラブの活性化ということを重視しています。具体的には３つあり、クラブのサポートと強化、人道的奉仕の重点化と強化(ポリオの撲滅事業など)、公共イメージと認知度の向上です。ロータリークラブというクラブのイメージとそのブランドの認知、それを調和させて向上させていきましょうとのことです。

ロータリークラブとは誇らしいことをたくさんしている歴史あるクラブなのですが、一般的にその活動が認知されていないことが課題となっております。東京オリンピックが行われる2020年に日本のロータリークラブが100周年を迎えます。この100周年の節目を認知につなげていけたらいいのではないかという話がありました。

次にクラブ奉仕委員会とはどのような委員会かということについてお話がありました。クラブ奉仕とはクラブの基盤を維持し強化するという役割があります。ロータリークラブには五大奉仕がありますが、クラブ奉仕というのは内部的な奉仕であり、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕の４つは外部的な奉仕です。これを外部と内部、陽と陰と表現することができ､守りと攻めという例えにもなります。クラブ奉仕というのは内部的なのでつまり『守り』に値します。他の４つは攻めでありそのような見方をするとクラブ奉仕という位置付けが見えてくるのではないでしょうかとのお話でした。具体的には、SWOT分析でクラブの強みや弱みを分析しそれを認識して頂きたいとのことです。クラブによって様々だと思いますがクラブの強みをもっと伸ばして頂きたい。また、新会員向けの研修はもちろん会員になって何年か経過した方向けの研修も必要ということをお話されていました。

常にテーマとなっている「ロータリークラブとは何か？」ということについて学び続ける必要があります。単なる飲み会や奉仕をするだけという印象を与えると入会者も減りますし、会員であっても退会してしまうのではないかと思われます。毎週例会を行う意味、会長を始めとした理事が毎年変わる意味を考えることが「ロータリークラブとは何か？」ということを考えるヒントになるのではないかと話されていました。研修とは教わる側ばかりではなく教える側も学びとなるというお話でした。

小塚会員より一言

地区委員の努めとして、地区としての感覚、自分のクラブをどうすべきかという仲介役であることが大切であると考えます。クラブ規模により同じ命題を与えられても対応が違うので、それを間違えるとうまくいかないと認識することは重要です。

川崎百合丘ロータリークラブの規模は最適なのではないかと思います。多すぎるとコミュニケーションが取りにくく、仲良しクラブというのは否定的なニュアンスで取られることが多いのですが、仲良しクラブがなければクラブ自体が面白くなく魅力もありません。仲良しクラブの中にロータリー独特の規律や中央の方針があり、哲学が生まれよいクラブになっていくと思われます。そのバランスを会長、幹事が考えどちらに行き過ぎることもなく運営していければと感じました。川崎百合丘ロータリークラブがよいクラブとして1つのモデルになって欲しいという願いを持っています。

雑誌委員会に出席して　　　　　　　　　　赤本幹事

11月5日に行われたクラブ雑誌委員長会議に玉井委員長の代理として出席しました。箕田ガバナーよりごあいさつがありました。『ロータリーの友』の題字は、ロータリーの友地区代表をやってらっしゃった時知り合いの書家の方に書いて頂いたものだそうです。

一般社団法人ロータリーの友所長兼理事の渡辺さんからロータリーの友についてお話がありました。